

ふふさと館
ニュース

飯山市ふるさと館

〒389-2253

飯山市大字飯山 1434-1

電話：0269-67-2030

FAX：0269-67-2030

e-mail: furusato@city.

iiyama.nagano.jp

ご案内

【開館時間】

9:00～18:00

※入館は 17:30 まで

【休館日】

月曜日、年末年始

※祝日の場合は火曜日

【入館料】

大人 200 円

子ども 100 円

※市内の小中学生と
同伴の保護者は無料

今月の文化財

小菅神社奉納額絵「花鳥之図」
(市有形文化財)

額の裏面に書かれた文によると、弘化4年の善光寺地震の際、大打撃を受けた飯山城下の家屋修復のため、小菅から数百本の木をもらったお礼として、この額絵を奉納した」とある。

作者は同じく裏面に「佐久間伴右衛門源晋」とあることから、佐久間雲窓によって描かれたものだろう。

国天然記念物「黒岩山」

環境整備参加者募集

外様地区に位置する黒岩山は、貴重なギフチョウとヒメギフチョウが混棲し、また、モリアオガエルやユキツバキ、ミズバショウなど、貴重な動植物が生息していることから、昭和46年に国の天然記念物に指定されました。

しかし、生活様式の変化により、山に人の手が入らなくなってきたことで里山の環境が変化し、これらの貴重な動植物の絶滅が危惧されています。

そのため市教育委員会では、文化庁の補助金を受け、3年計画で黒岩山再生事業を実施します。今年度は主に動植物が住みやすい環境を作るため、下草刈りや雑木伐採などを行いますので、環境整備への参加者を募集しています。

山仕事が始めての方や女性も大歓迎です。この機会に天然記念物の保護に挑戦してみたいかがでしうか。

期 日: 6月28日(土)、29日(日)
7月26日(土)、27日(日)
今後も月2回実施します。

時 間: 8時30分～15時

集 合: 外様地区活性化センター

持ち物: 山仕事のできる服装、長靴、
昼食等

※申込み・お問い合わせ先
管理学習課文化振興係
TEL 62-3342

市民の方から

オオブタクサから市街地を守るために

オオブタクサはスギ花粉、セイタカアワダチソウの花粉などとともに花粉症の方々には大変嫌われている植物です。

このオオブタクサが荒廃農地などに激しい勢いで増え始めたのは、平成14年～15年頃からで、昨年頃からは手入れの行き届いた農地でも、4月下旬頃になると、野菜の苗と間違えられるような大きくなり、6月頃まで放っておくと、抜き取るのにも大変な苦勞です。また、1～2年前まで

Mさん(飯山地区在住)

は、飯山地区においては旧飯山国際スキー場の荒廃地で、林のごとく蔓延していましたが、昨年頃からは人家の周りにも、やたらと見られるようになりました。

10年前、アレチウリが蔓延したときは、市農林課でも大変努力され、大分下火になったように思います。このオオブタクサも今後急増することは十分予想されます。オオブタクサから市街地を守ることは、農林課や農家だけでは、農林課や農家だけでは、

▽すでに開花した
オオブタクサ



正保城絵図と飯山城

飯山地区公民館長

長瀬 哲

シリーズ
飯山を語る
No.9

飯山城は、永禄七年(1564)十月、上杉謙信の指揮により、城郭としての本格的な普請が終了しました。その後、上杉景勝の時代に岩井備中守信能により、さらに整備強化されました。その際、縄張は直江兼続との伝承もあります。

さて、飯山城の姿を伝える城絵図は、現在、二十種余り見られます。これらの城絵図の中で一番の城絵図は、『正保城絵図』です。この城絵図は、三代将軍徳川家光が諸大名に、正保元年(1644)に製作を命じ、現在、六十三点しか残ってなく、国指定重要文化財になっています。幸いなことに、飯山城がその内の一点です。『正保城絵図』は、国立

公文書館から購入することが出来るので、私も購入し、資料として活用しています。絵図を広げるつど素晴らしさに感動しています。戦国期の雰囲気も十分に感じられ、近世城郭へと変化を遂げた城絵図となっているからです。彩色の素晴らしさもあります。しかし、正保城絵図を広げる度に、このままの飯山城が残っていたらなあと思ってしまうほどです。それは大きく改変された、今の飯山城と比較をしてみようからです。

飯山城は、明治以降の改変により、城郭としての景観が大きく失われています。しかし、本丸・二ノ丸は『県史跡』に指定されています。飯山城は曲輪・石垣・枡形・切岸・土塁・南中門・桜井戸・大手道と、城郭としての姿が数多く残っています。それだけに、市民や飯山城を訪れた人達に、飯山城が貴重な歴史的遺産であることに、理解を深めて頂けるような保存・整備をし



△現在も当時の姿を残す石垣

内山紙の座布団

寄贈して
いただきました

(有)阿部製紙様より、ふるさと館に伝統的工芸品の内山紙で作られた座布団を寄贈していただきました。丈夫で通気性や保温力に優れているという特徴を持つ内山紙を使った座布団は、ふるさと館展示室の雰囲気にもぴったり。

皆さんもふるさと館にお越しの際はぜひ、座布団に座り、内山紙の素晴らしさにふれてみてください。



寄贈資料一覧

3月～5月

▽大塚 安雄 様

△シロバタ

▽米持 拓真 様

銭貨

▽岸田 紀久子 様

盤石製紙、すごろく、金

銭小使帳、東京大写真帖、

御大札記念写真真帖、最新

日本全国交通地図

【お詫び】

ふるさと館ニュース3月号に誤りがありました。箱ぞりの寄付者は、正しくは、牧野隆実さんです。訂正し、お詫び申し上げます。

※ふるさと館では、当館で所蔵していない資料の寄贈を随時受け付けております。寄贈いただいた資料は、大切に保存・活用させていただきます。

